

風しんワクチンの需給状況について

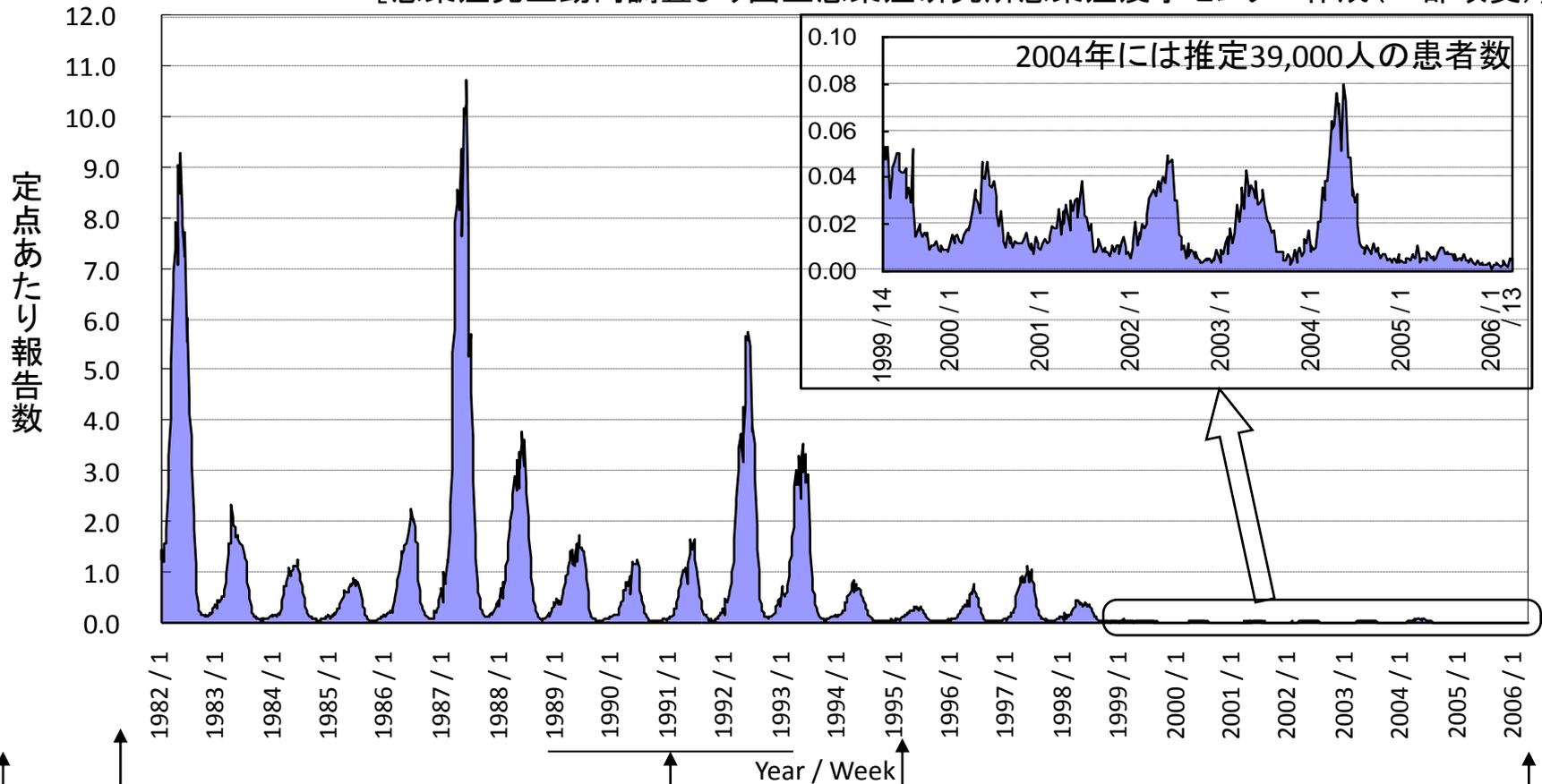
第2回予防接種基本方針部会

厚生労働省 健康局

結核感染症課 予防接種室

定点あたり報告数の推移 (小児科定点, 1982年第1週～2006年第13週)

[感染症発生動向調査より国立感染症研究所感染症疫学センター作成(一部改変)]



1977年から女子中学生に対する風疹定期予防接種開始

1981年7月厚生省サーベイランス事業開始

1989年4月から1993年4月まで定期麻疹予防接種時にMMRワクチンの選択が可能

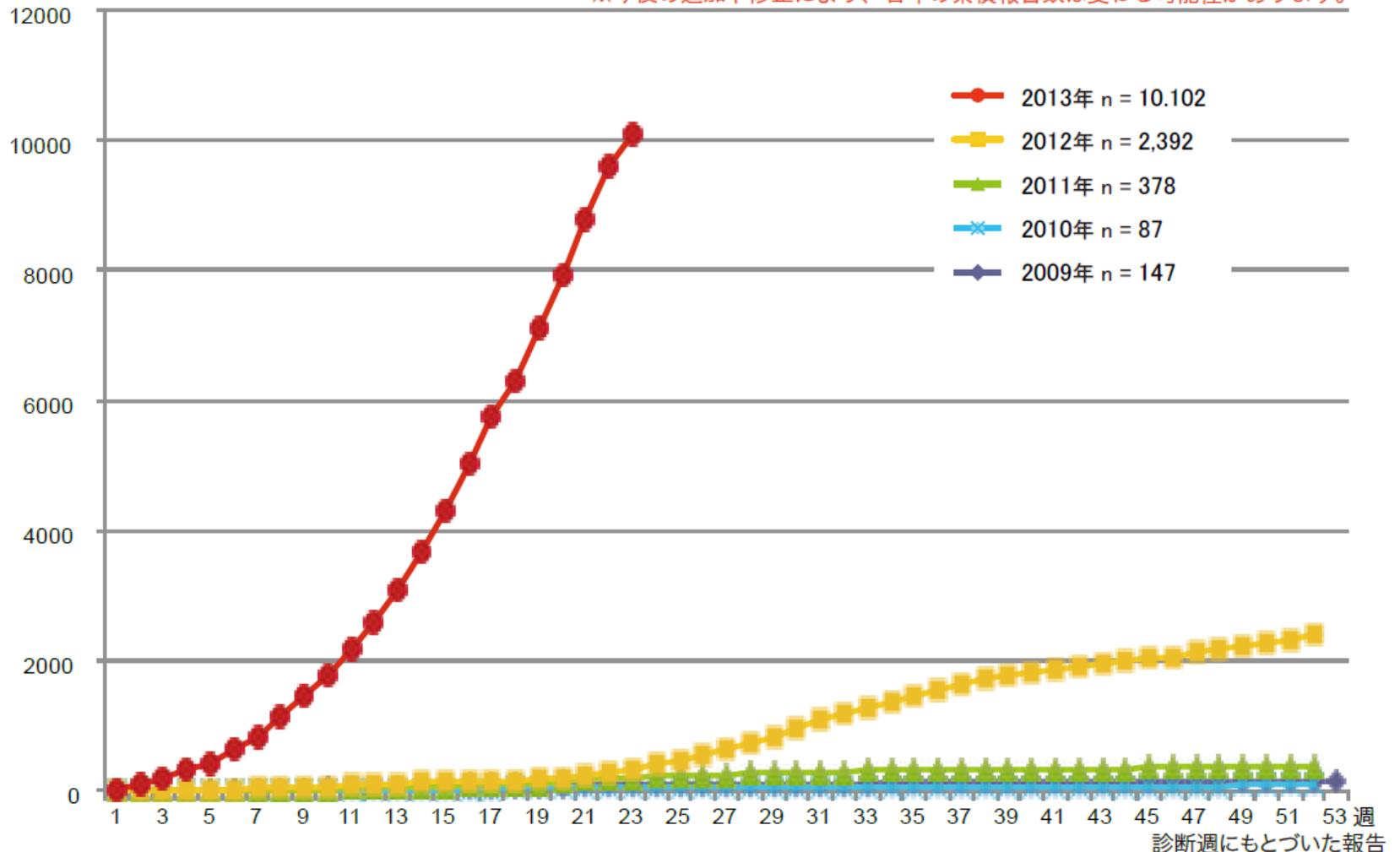
1995年4月から生後12～90か月の男女に対する定期予防接種開始、中学生は男女ともに定期予防接種対象となる

2006年4月1日から、定期予防接種としてMRワクチンの使用開始、同年6月2日から1歳児と小学校入学前1年間の2回接種開始

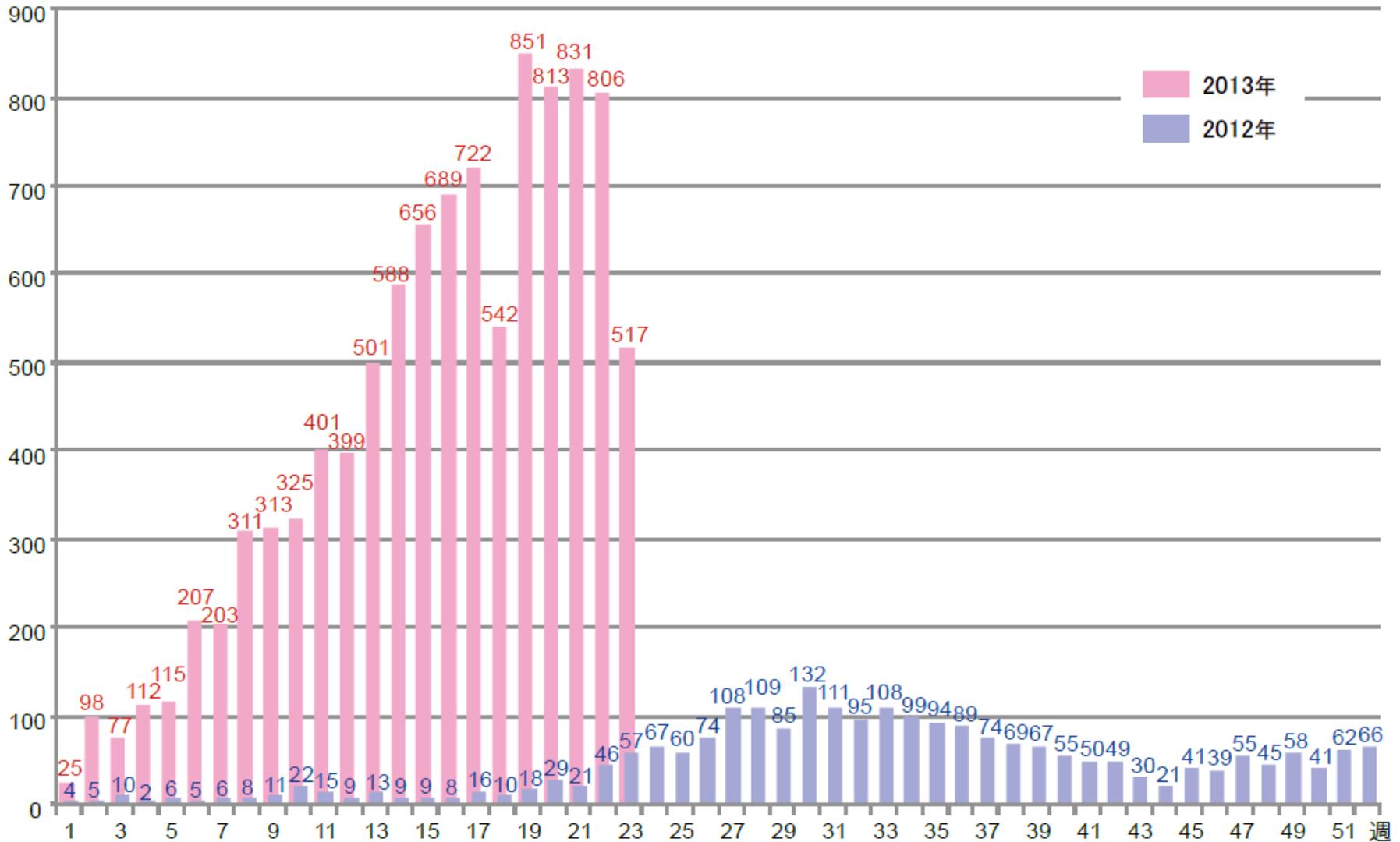
風しん累計報告数の推移

2009年～2013年第23週

※今後の追加や修正により、各年の累積報告数は変わる可能性があります。



週別風しん報告数

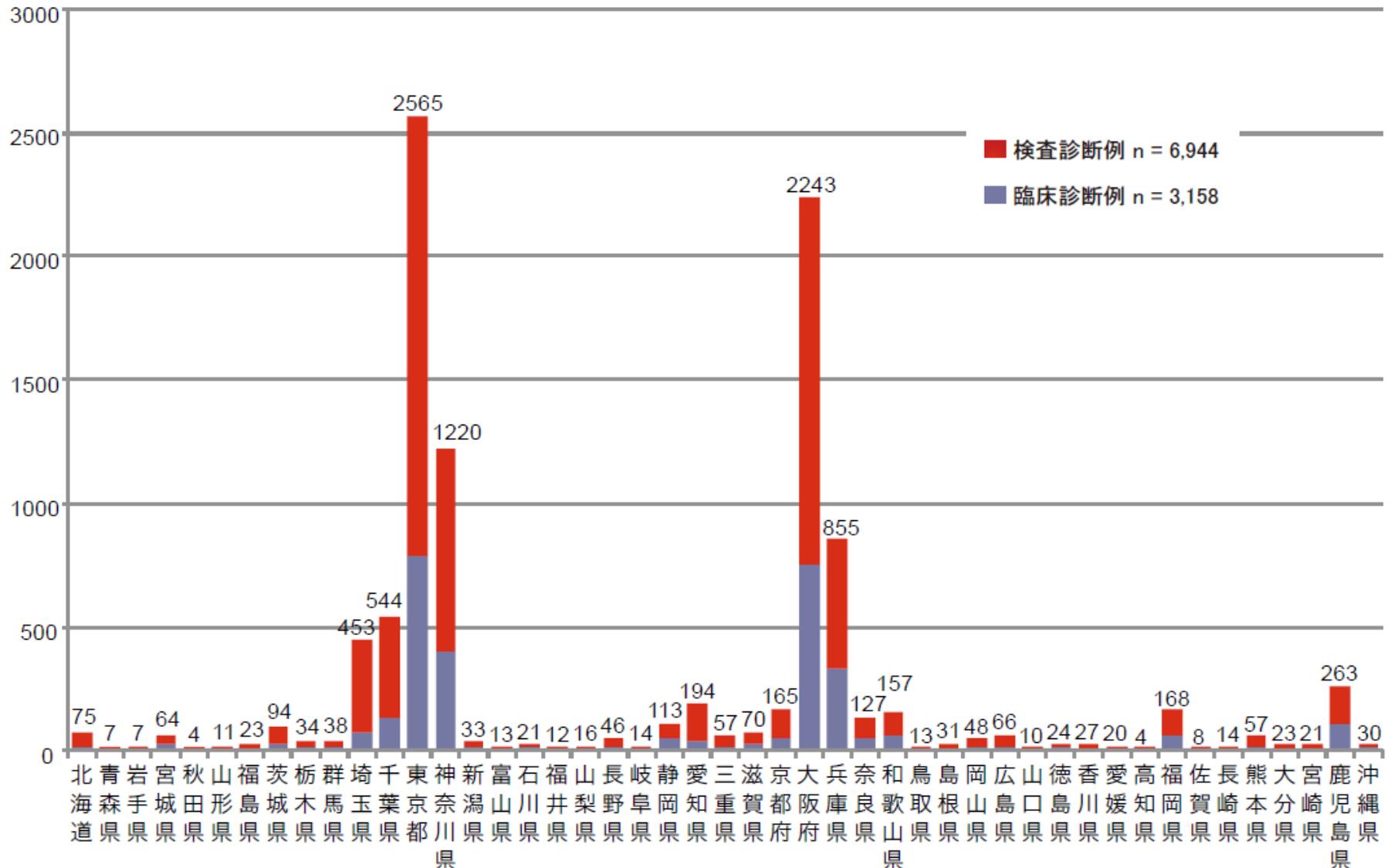


診断週にもとづいた報告

感染症発生動向調査 2013年6月12日現在

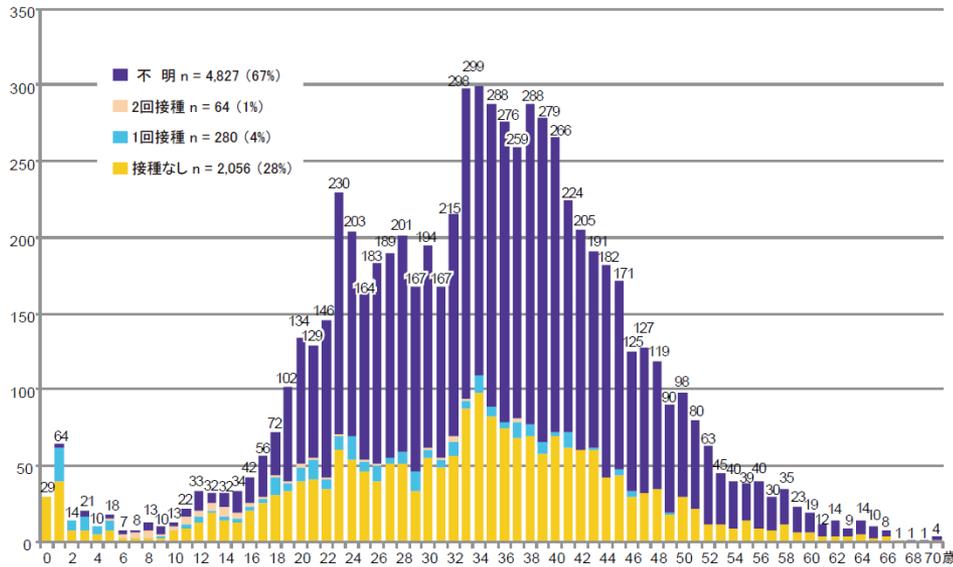
都道府県別病型別風しん累計報告数

2013年第1週～23週

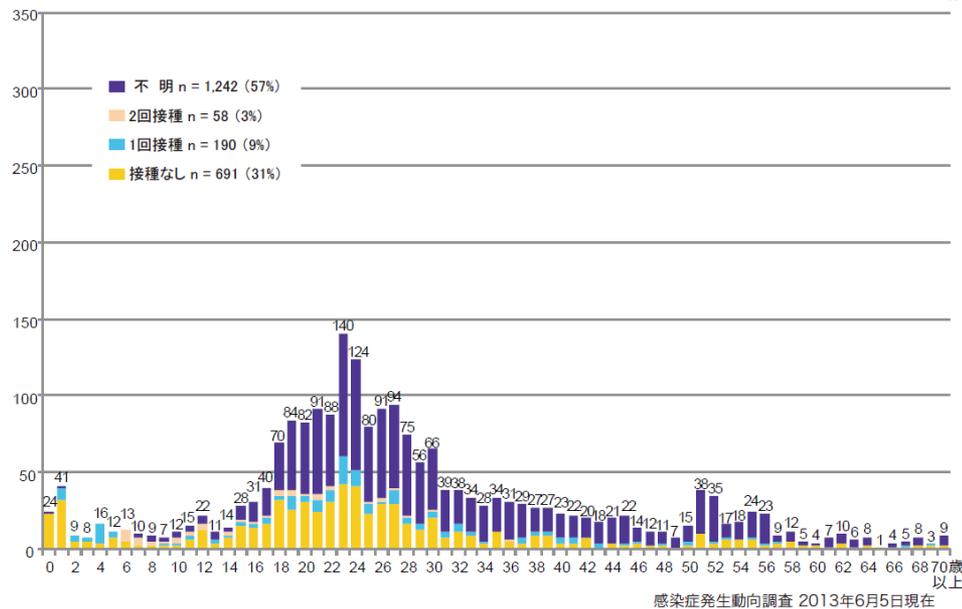


年齢別接種歴別風しん累積報告数

男性

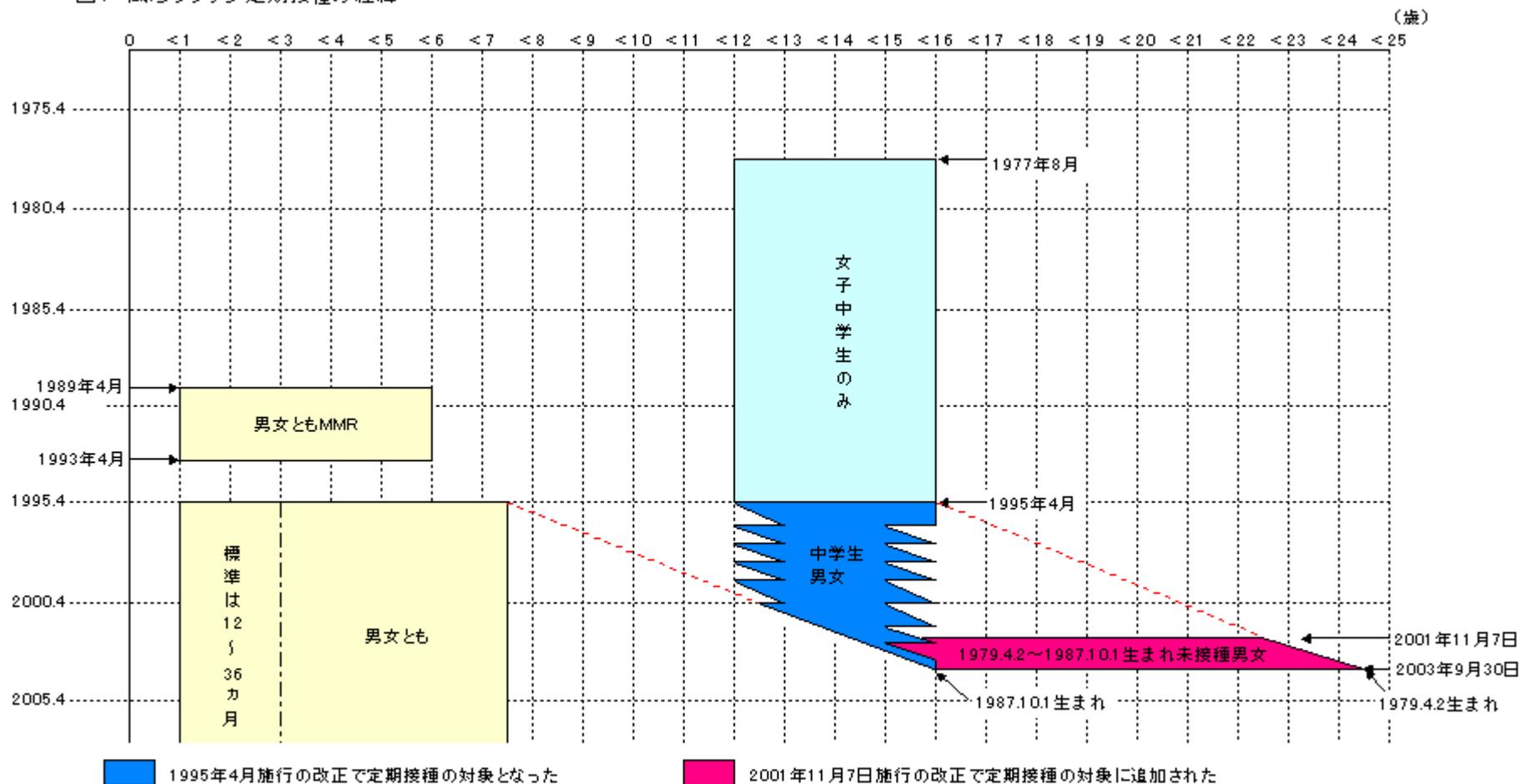


女性



[感染症発生動向調査より国立感染症研究所感染症疫学センター作成]

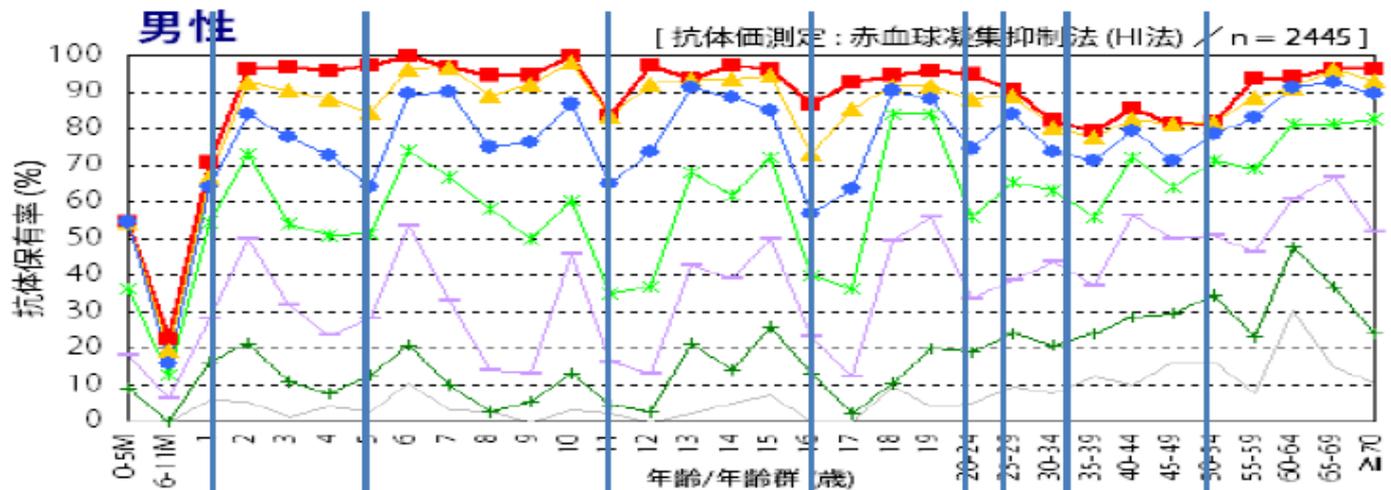
図1 風疹ワクチン定期接種の経緯



風しん定期予防接種の変遷

出生年	年齢 (H25 年度)	1 回目接種	2 回目接種
昭和 37(1962)年 4 月 1 日 以前	52 歳以上	男女ともなし	
昭和 37(1962)4 月 2 日～ 54(1979)年 4 月 1 日	35～51 歳	女性のみ(中学生)	
昭和 54(1979)4 月 2 日～ 62(1987)年 10 月 1 日	26/27～34 歳	男女とも(中学生) (接種率が低かったため、 2001～03 年にかけて追加 で接種機会を設けられた)	
昭和 62(1987)10 月 2 日～ 平成 2(1990)年 4 月 1 日	24～26/27 歳	男女とも(幼少時)	
平成 2(1990)年 4 月 2 日 以降	～23 歳	男女とも(幼少時)	男女とも

年齢別抗体保有率



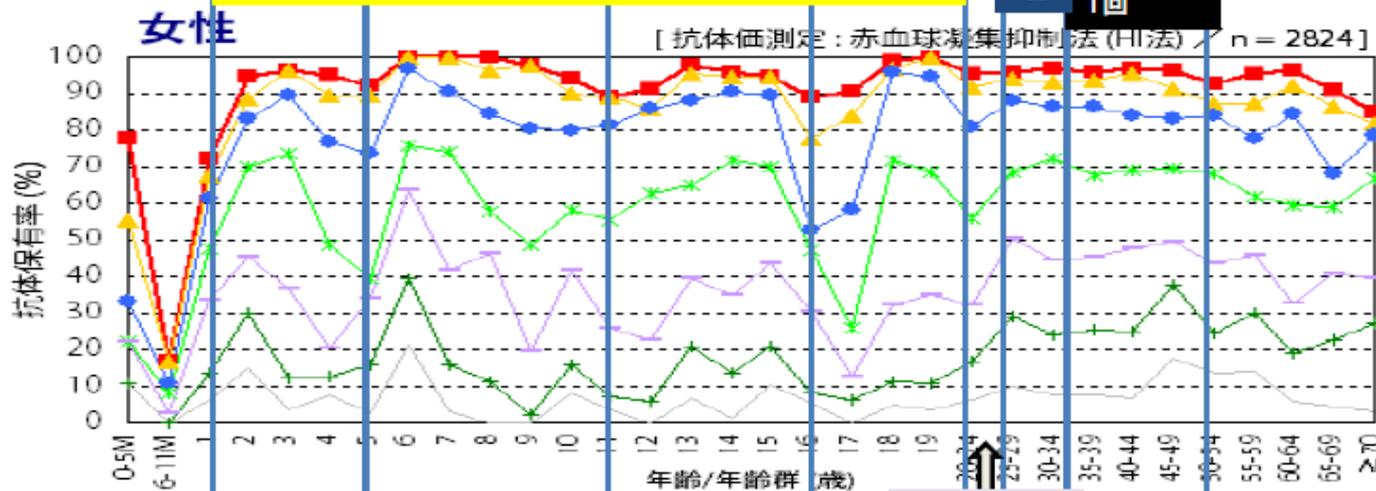
抗体価 ■ $\geq 1:8$ ▲ $\geq 1:16$ ● $\geq 1:32$ ✱ $\geq 1:64$ + $\geq 1:128$ ✕ $\geq 1:256$ + $\geq 1:512$

2回接種(1. 2. 3. 4期)

中学
男女
1回

女子中
学生のみ
1回

予測2011



※ 0.5か月群は10名未満の結果

幼児期1回

男性

女性

風しんの流行に対する厚生労働省のこれまでの主な対応

- 昨年5月以降、自治体に対し、以下の趣旨の課長通知を4回発出
 - 風しんの定期予防接種対象者に対し、積極的な接種勧奨を行うこと
 - 妊婦への感染を抑制するため、妊婦の夫等の同居家族へ予防接種の情報提供依頼
 - 産婦人科・小児科医療機関等への情報提供依頼
- 政府公報、厚労省ホームページ、メールマガジン、ポスター等で注意喚起（日本医師会、日本産婦人科学会等と連携して実施）。
- 職域、新婚夫婦等、ターゲット層を絞ったリーフレットを作成し、周知を実施
- 日本産婦人科学会などと連携して、妊娠中の感染症予防対策の情報提供
- ワクチン需給に関する情報提供・協力依頼

風しんの任意接種者数の推計 (ワクチン供給量より)

年度	①1～4期接種者数の合計(人)	②ワクチン供給量(R+MR)(本)	②-①(任意接種分相当)
20	4,060,742	4,370,573	309,831
21	4,018,152	4,288,534	270,382
22	4,074,440	4,406,930	332,490
23	4,074,162	4,330,394	256,232
24		4,272,896※	

※見込みも含む

毎年度30万人程度の任意接種が行われていると推計。

平成25年4-5月実績

4月	MR	R	合計
出荷数(製造業者)	621,355	0	621,355
搬入実績(医療機関等)	514,856	19,788	534,644
推定定期接種回数	449,274	76	449,350
推定任意接種回数	65,582	19,712	85,294

5月	MR	R	合計
出荷数(製造業者)	378,021	0	378,021
搬入実績(医療機関等)	476,613	11,127	487,740
推定定期接種回数	172,567	29	172,596
推定任意接種回数	304,046	11,098	315,144

6月以降の在庫数*想定

任意接種	6月末	7月末	8月末	9月末
20万回/月	838,201	588,600	418,251	581,704
25万回/月	788,201	488,600	268,251	381,704
30万回/月	738,201	388,600	118,251	181,704
35万回/月	688,201	288,600	-31,749	-18,296

5月末の製造販売業者、販売業者、卸売販売業者の在庫数合計から推定
尚、医療機関の在庫数は不明

ワクチン不足に対するこれまでの主な対応

- 製造販売業者にワクチンの安定供給を要請
- 6月14日に優先接種者について周知を行う課長通知発出
- ホームページを通じてワクチン供給実績と今後の見通しについて情報提供

現在の優先接種者

- 風しんの定期予防接種対象
 - 1歳児及び、小学校入学前1年間の幼児
- 妊婦を守る観点から、
 - 妊婦の夫、子ども及びその他の同居家族などの、妊婦の周囲の方
 - 10代後半から40代の女性（特に、妊娠希望者又は妊娠する可能性の高い方）
のうち、抗体価が十分であると確認できた方以外の方。

課題

- 製造販売業者に対して安定供給を要請しているところであるが、短期間でのワクチンの増産は困難
- 任意接種者数が現在の水準で持続した場合に今夏以降にワクチンが不足する可能性が考えられる
- 今年度、風しんが流行する中で、安定的なワクチン供給を実現するためには、更にどのような対応策が考えられるか